

## 1. 略歴

1986年3月	東京大学文学部宗教学宗教史学専門課程 卒業
1986年4月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻修士課程 入学
1988年3月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻修士課程 修了
1988年4月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻博士課程 進学
1991年9月	シカゴ大学大学院ディヴィニティ・スクール宗教史専攻留学 (至1994年6月)
1995年12月	東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻博士課程単位取得退学
1996年1月	日本学術振興会特別研究員 (至1998年12月)
2001年4月	大正大学文学部国際文化学科助教授
2006年4月	大正大学文学部表現文化学科教授
2010年4月	大正大学文学部人文学科教授
2011年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野准教授
2017年4月	同教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

宗教学 (理論研究・比較研究)、宗教と教育の関係、北米の宗教

宗教学の基礎でありながら、20世紀後半以降、方法として成立し難くなった「比較」に注目し、その観点から理論研究を行うとともに、ケーススタディでは宗教と教育の関係、世界宗教史記述を対象としている。さらに、宗教学史についても国際宗教学宗教史学会 (IAHR) と宗教現象学の関係史について議論を活性化させ、国際学会のあり方・日本のアカデミアの関わり方についての問題提起を試みている。

### b 研究課題

宗教比較の方法、宗教史の記述について、学界ならびに一般社会に見られる問題とその背景・原因を洗い出し、具体的対策を提示することを課題とする。個々の課題設定は以下の通りである。

(1) 比較理論の検討として、①欧米宗教学の変遷、②宗教分類概念の問題、③宗教に対する代替概念の問題をとりあげる。

①「比較宗教学 comparative religion」から出発した欧米の宗教学とその基礎前提が、その後通時的・実証的研究を重視することによってどのように変化したかを調べる。人文的宗教学と社会科学的宗教学の制度的位置関係についても、その歴史的変遷過程を明らかにする。特に20世紀の比較宗教研究の代名詞であった、宗教現象学の受容と変容について10カ国の研究者の協力を得て調査を行い、その成果をIAHRをめぐる現在の論争に反映させる。

②「世界宗教」「民族宗教」の対概念をはじめ、宗教学で伝統的に用いられてきた宗教分類概念の妥当性を、昨今の批判理論に照らして検討する。

③2000年代以降の宗教現象を分析するために、ポスト・セキュラー論・概念がしばしば用いられるようになったが、それは日本の現状をとらえるのにどこまで有効かを検討する。

(2) 近現代社会の公教育において宗教がどう扱われてきたかに関する歴史的研究を行う。

ある国の公教育では宗教が排除される、他の国では宗教が取り込まれるという現象を、単に「宗教教育の有無」や「政教分離の有無」として見るのではなく、排除・吸収どちらの場合でもその前提として公権力により「宗教」が定義されていることに注目し、各国の教育制度と法令・教科書の中にその表れを探る。一般概念としての「宗教」のみならず、キリスト教、仏教といった各宗教に関する記述と、教育方法・思想や当該国の宗教・社会情勢の関係を調べる。

(3) (2)の研究成果を踏まえ、国内の公教育における宗教の描き方・教え方に関する問題点を指摘し、改善のための具体的方策を示す。対象は中等教育から高等教育、社会人教育を含む。

### c 概要と自己評価

上記の(1)の①②については国際共著書籍を1冊を刊行、国際共著論文を2点発表、科研の研究報告書を刊行した他、国際学会で研究発表を行った。国際学会での発表はいずれもオンラインでの実施となったが、国際哲学・人文学会議 (CIPSH) の会議では基調講演を務めた。また、CIPSHのGlobal History of the Humankindプロジェクト委員として、学際的な視野から世界宗教史記述を再検討するためのプラットフォームづくりに継続して取り組んでいる。

(2)の課題については2019年度にまとめた研究成果を発表したため、今期は同様の問題意識を持つ海外の研究者との連携を試みている。コロナ禍により当初の予定ほどは進まなかったが、オンライン会議により議論を深めることができた。

#### d 主要業績

##### (1) 著書

共著、Satoko Fujiwara, David Thurfjell, and Steven Engler eds, *Global Phenomenologies of Religion: An Oral History in Interviews*, Equinox, 2021.3

単著、藤原聖子、『宗教と過激思想』、筑摩書房、2021.5

##### (2) 論文

Satoko Fujiwara and Tim Jensen, "What's in a (Change of) Name? Much—but Not That Much—and Not What Wiebe Claims," *Method & Theory in the Study of Religion*, 32/2, pp.159-184, 2020.5

Tim Jensen and Satoko Fujiwara, "Professor Geo Widengren, IAHR Vice-President 1950-1960, IAHR President 1960-1970, IAHR Honorary Life Member 1996," *The Legacy, Life and Work of Geo Widengren and the Study of the History of Religions after World War II*, ed. by Göran Larsson, Leiden: Brill, 2021.11

##### (3) 学会発表

国内、藤原聖子、「宗教学から考える世界」、日本学術会議 学術フォーラム、2020.9.20

国内、藤原聖子、「宗教学から見た「女性」と「学」と「社会」、ホームカミングデー企画公開シンポジウム「文学部が見てきた「女性と社会」、2020.10.17

国内、藤原聖子、「コメント」、科研・成果論集『宗教と風紀』連続講演会、2021.7.17

国際、Satoko Fujiwara, "Global Phenomenologies of Religion and their Implications for Philosophical Anthropology," *The Phenomenology of Religion as Philosophical Anthropology*, Oxford University, 2021.10.4 (招待講演)

国内、藤原聖子、「「世界哲学」は世界に開かれているか—宗教学も直面する問い—」、連続シンポジウム「世界哲学・世界哲学史を再考する」第6回「世界哲学と宗教」、2021.11.22

国際、Satoko Fujiwara, "The Global History of Religions in the Era of the SDGs," CIPSH International Conference: Sustainability, Social Relevance, and the Humanities: Opportunities and Challenges, Southern University of Denmark, 2021.12.16 (招待講演)

##### (4) 啓蒙

藤原聖子、「宗教学から見た「女性」と「学」と「社会」、『文学部が見てきた「女性と社会』」、2021.2

##### (5) 研究報告書

藤原聖子、「宗教現象学の歴史の変遷と地域性に関する包括的研究」、『東京大学宗教学年報』37 特別号、1-267 頁、2020.12

##### (6) 会議主催、チェア他

国内、「日本宗教学会第80回年次大会」、チェア、KARS-JARS Joint Forum: Toward Post-COVID19 Networking、2021.9.7

国内、「ホームカミングディ文学部企画「共感」と「分断」、チェア、2021.10.16

国際、AAR Annual Meeting: The ICC-IAHR Joint Round-Table Session、チェア、2021.11.20

##### (7) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究B、藤原聖子、研究代表者、「宗教現象学の形成と論争に関するトランスナショナル・ヒストリー」、2020～

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

特別講演、日本学術会議、学術フォーラム「生きる意味—コロナ収束後の産学連携が目指す価値の創造—」、2020.9  
九州大学非常勤講師

海外インフラ展開人材養成プログラム（計画・交通研究会）講師

#### (2) 学会役員

国内、日本宗教学会 常務理事

国内、日本宗教研究諸学会連合 幹事

国内、日本学術会議 連携会員

国際、International Association for the History of Religions, Secretary General, 2020.8～

国際、International Council for Philosophy and Humanistic Studies (CIPSH), Executive Committee, 2020.12～

(3) 行政

文化庁宗務課 宗教法人審議会委員

文部省 大学設置委員会委員